

## 2

### ユニセフ協会を訪問して 茨城県新治郡千代田町立下稲吉中学校

報告者 生徒会 木村珠美 川井万幾

私たち下中学生徒会はユニセフ協会を訪問してから、さまざまな活動を行いました。

まず、体育祭での募金活動です。

「ただ募金をしてもらっただけでは意味がない。募金の意味を知ってもらおう」と考えました。そこで町内のお店や学校に体育祭とユニセフ募金宣伝用のポスターを配り、体育祭当日は、ユニセフ協会からいただいたポスターを掲示しました。また、校内放送でも開発途上国の現状などを体育祭に来てくださった方々みなさんに伝えたり、募金についてわかりやすく書いてあるプリントを配付しました。

二つ目はインターネットを使って行った「こねっとセミナー」です。ウガンダの子どもたちに「将来の夢は何ですか」

と下中から発すると「世界中が平和になってほしい」など、とても私たちと同じ歳の子どもだと思えないほどの答えが返ってきて驚きました。私たちはこのセミナーを通して「自分たちの視野をもっと広げていかなければならない」と感じました。

下中はユニセフ活動が始まったばかりです。募金と言ってもまだピンとこない生徒もいるはずですが、だから、まず開発途上国について知り、ユニセフ活動に興味をもってもらうことが大切だと思いました。そして、ひとりひとりが世界に目を向け、世界が平和になるためにはどう

すればよいかを考えてほしいと思います。

